

【評価結果:見直し】

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由		
						22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度				24年度	25年度
1	コミュニティビジョン推進事業	市民局 地域振興課	助成・育成	○事業開始年度 平成23年度 【概要】平成22年度に策定した「鹿児島市コミュニティビジョン」を推進するため、地域コミュニティ連携組織を3地域でモデル的に立ち上げ、その地域の実践した事例などを推進戦略会議で検証・評価し、市全域への拡大に取り組む。 【対象者】地域コミュニティ組織(町内会等・校区公民館運営審議会・あいご会など) 【具体的な活動内容】 ・鹿児島市コミュニティビジョン推進戦略会議の開催(23年度～) ・中名・八幡・平川小学校区でのモデル事業の実施(24～26年度) ・地域連携コーディネーター配置(24年度～) ・地域説明会の開催 など	市単	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0 (0.00人)	[概算コスト] 8,651 (内訳) ・決算額 728 ・人件費 7,923 (1.00人)	[概算コスト] 12,177 (内訳) ・決算額 4,328 ・人件費 7,849 (1.00人)	[概算コスト] 15,888 (内訳) ・予算額 8,112 ・人件費 7,776 (1.00人)	説明会開催回数(単位:回)	[目標値] 8 [実績値] 8 <達成率> 100.0%	[目標値] 12 [実績値] 12 <達成率> 100.0%	[目標値] 14 [実績値] 12 <達成率> 100.0%	[目標値] 14 [実績値] 12 <達成率> 100.0%	地域コミュニティ協議会数(単位:団体)	[目標値] 0 [実績値] 0 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	A	B	見直し  (理由) モデル事業の検証・評価を踏まえ、早期に全市域でのコミュニティ協議会設立を推進するため、地域の実情に合わせた運営方法等の検討や、支所等の関係部署を含めた推進体制の構築を図るなど、協議会への積極的な支援を実施すべきである。
2	コミュニティ活動推進講座	市民局 地域振興課	助成・育成	○事業開始年度 平成13年度 【概要】コミュニティ活動の活性化のため、組織をまとめるリーダーや、事務処理に精通した役員など、人づくりのためのコミュニティ活動推進講座を実施する。 【対象者】町内会役員等 【具体的な活動内容】パソコン講座(ワード・エクセル)及び地域づくり講座	市単	[概算コスト] 1,229 (内訳) ・決算額 24 ・人件費 1,205 (0.15人)	[概算コスト] 1,212 (内訳) ・決算額 24 ・人件費 1,188 (0.15人)	[概算コスト] 1,390 (内訳) ・決算額 213 ・人件費 1,177 (0.15人)	[概算コスト] 1,335 (内訳) ・予算額 169 ・人件費 1,166 (0.15人)	講座開催回数(単位:回)	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 14 [実績値] 14 <達成率> 100.0%	[目標値] 14 [実績値] 14 <達成率> 100.0%	延べ参加者数(単位:人)	[目標値] 150 [実績値] 30 <達成率> 20.0%	[目標値] 150 [実績値] 70 <達成率> 46.7%	[目標値] 280 [実績値] 247 <達成率> 88.2%	[目標値] 280 [実績値] 247 <達成率> 88.2%	A	B	見直し  (理由) ワードなどのパソコン講座だけでなく、SNSの活用方法など、講座内容がよりコミュニティ活動の推進に役立つものとなるよう見直ししていくべきである。
3	花いっぱい運動推進事業	建設局 公園緑化課	啓発・広報	○事業開始年度 平成22年度 【概要】第28回全国都市緑化ごしまフェアを契機として高まった、花と緑を愛する機運を継続させるため、本市の花いっぱい運動を市民・事業者との協働で推進する。 【対象者】市民 【具体的な活動内容】 ・まちなかへの立体花壇の設置(22年度)(中央駅前広場、中央公園、みなと大通り公園、鹿児島駅前広場) ・花壇の花苗植付けデザインの募集(22年度～)	市単	[概算コスト] 7,702 (内訳) ・決算額 5,775 ・人件費 1,927 (0.24人)	[概算コスト] 5,315 (内訳) ・決算額 3,413 ・人件費 1,902 (0.24人)	[概算コスト] 5,484 (内訳) ・決算額 3,600 ・人件費 1,884 (0.24人)	[概算コスト] 5,466 (内訳) ・予算額 3,600 ・人件費 1,866 (0.24人)	花壇デザイン応募件数(単位:件)	[目標値] 20 [実績値] 3 <達成率> 15.0%	[目標値] 20 [実績値] 115 <達成率> 575.0%	[目標値] 20 [実績値] 36 <達成率> 180.0%	[目標値] 20 [実績値] 36 <達成率> 180.0%	市民・事業者と協働で設置された立体花壇数(単位:箇所)	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	A	B	見直し  (理由) 立体花壇の維持管理業務は、他の花壇と同様に管理するため、「花と緑のいきいき事業」と一体的に実施すべきである。
4	花と緑のまちづくり協働事業	建設局 公園緑化課	啓発・広報	○事業開始年度 平成22年度 【概要】市民参加による緑化や、花と緑あふれるまちづくりを推進するため、花の苗の配布、錦江湾公園はなまつりや花と緑のコンクールの開催などにより、市民の緑化意識の高揚を図る。 【対象者】市民 【具体的な活動内容】 ・花いっぱい運動の推進(町内会等への花苗の配布) ・歩道緑地帯(街路樹)の自主的な管理の奨励(240団体) ・錦江湾公園はなまつりの開催(5月中旬) ・花のまちづくりコンクールの開催(隔年実施)	市単	[概算コスト] 18,274 (内訳) ・決算額 12,492 ・人件費 5,782 (0.72人)	[概算コスト] 16,916 (内訳) ・決算額 11,211 ・人件費 5,705 (0.72人)	[概算コスト] 18,596 (内訳) ・決算額 12,945 ・人件費 5,651 (0.72人)	[概算コスト] 18,183 (内訳) ・予算額 12,584 ・人件費 5,599 (0.72人)	花の苗配布先花壇管理団体数(単位:団体)	[目標値] 150 [実績値] 159 <達成率> 106.0%	[目標値] 150 [実績値] 167 <達成率> 111.3%	[目標値] 150 [実績値] 169 <達成率> 112.7%	[目標値] 150 [実績値] 169 <達成率> 112.7%	花の苗配布先花壇管理団体の花壇面積(単位:m <sup>2</sup> )	[目標値] 5,100 [実績値] 4,596 <達成率> 90.1%	[目標値] 5,100 [実績値] 4,763 <達成率> 93.4%	[目標値] 5,100 [実績値] 4,998 <達成率> 98.0%	[目標値] 5,100 [実績値] 4,998 <達成率> 98.0%	A	B	見直し  (理由) 緑化意識の普及啓発を図り、花と緑のまちづくりを推進するために必要な事業であるが、緑化意識を一層高める効果的なイベントとして、錦江湾公園はなまつりだけではなく、春・秋の本市を活用するなど、実施期間や内容を見直すべきである。
5	農林水産物地産地消推進事業	経済局 生産流通課	助成・育成	○事業開始年度 平成19年度 【概要】豊富な市内産の特産農林水産物を広く市民に紹介するため、県・市・農業者団体等で構成する市農産物等流通促進協議会に負担金を支出し、同協議会を通じて、試食宣伝販売により旬の味を市民に提供するとともに、産地での収穫体験・交流会及び旬の味を市民に提供する教室を開催し、本市特産農林水産物の消費拡大を図る。 【対象者】市民 【具体的な活動内容】 ・旬のキャンペーン(年に4回開催、23.24年度は3回) ・食の産地交流会(年に3回開催) ・旬のクッキング教室(年に6回開催)	市単	[概算コスト] 5,859 (内訳) ・決算額 1,764 ・人件費 4,095 (0.51人)	[概算コスト] 5,567 (内訳) ・決算額 1,764 ・人件費 3,803 (0.48人)	[概算コスト] 5,532 (内訳) ・決算額 1,764 ・人件費 3,768 (0.48人)	[概算コスト] 6,630 (内訳) ・予算額 2,664 ・人件費 3,966 (0.51人)	旬のキャンペーン、産地交流会、クッキング教室開催回数(単位:回)	[目標値] 13 [実績値] 13 <達成率> 100.0%	[目標値] 12 [実績値] 12 <達成率> 100.0%	[目標値] 12 [実績値] 12 <達成率> 100.0%	[目標値] 13 [実績値] 13 <達成率> 100.0%	参加人数(単位:人)	[目標値] 2,343 [実績値] 2,343 <達成率> 100.0%	[目標値] 2,370 [実績値] 2,370 <達成率> 100.0%	[目標値] 2,320 [実績値] 2,320 <達成率> 100.0%	[目標値] 2,320 [実績値] 2,320 <達成率> 100.0%	A	B	見直し  (理由) 安心・安全な市内農林水産物を広く市民にPRし、地産地消を進める上で必要な事業であるが、一回あたりの参加者数が少なく、費用対効果が小さいことから、開催回数や開催方法など、参加者増となる見直しをすべきである。
6	農産物生産者団体育成事業	経済局 生産流通課	助成・育成	○事業開始年度 昭和52年度 【概要】本市の農産物の生産者で組織している農業者団体への活動助成 【対象者】鹿児島市野菜振興連絡協議会外6団体 【具体的な活動内容】野菜、花き、果樹、茶等の農業者団体による研修事業など(補助率)市1/3	市単	[概算コスト] 7,247 (内訳) ・決算額 4,035 ・人件費 3,212 (0.40人)	[概算コスト] 7,204 (内訳) ・決算額 4,035 ・人件費 3,169 (0.40人)	[概算コスト] 7,125 (内訳) ・決算額 3,985 ・人件費 3,140 (0.40人)	[概算コスト] 7,095 (内訳) ・予算額 3,985 ・人件費 3,110 (0.40人)	団体数(単位:団体)	[目標値] 8 [実績値] 8 <達成率> 100.0%	[目標値] 8 [実績値] 8 <達成率> 100.0%	[目標値] 7 [実績値] 7 <達成率> 100.0%	[目標値] 7 [実績値] 7 <達成率> 100.0%	研修会開催回数(単位:回)	[目標値] 116 [実績値] 121 <達成率> 104.3%	[目標値] 114 [実績値] 121 <達成率> 106.1%	[目標値] 116 [実績値] 115 <達成率> 99.1%	[目標値] 115 [実績値] 115 <達成率> 100.0%	A	B	見直し  (理由) 生産者団体会員の資質向上や技術向上を図るため、必要な事業であるが、毎年度、定額の助成金を継続するのではなく、各団体の活動内容、財政状況、会員数の増減に応じた補助金の算定を行うべきである。また、研修の効果が把握できる指標の設定を検討すること。

【評価結果:見直し】

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
						22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度			
7	受精卵移植事業	経済局 生産流通課	その他	○事業開始年度 昭和63年度  【概要】受精卵移植技術を活用し、肉用牛、乳用牛の資質改善による優良系統の確保を図る。 【対象者】農業者 【具体的な活動内容】 ・優れた受精卵を得るための供卵牛の購入 ・供卵牛より受精卵の採卵 ・他の雌牛への受精卵の移植	市単	[概算コスト] 15,085 (内訳) ・決算額 8,902 ・人件費 6,183 (0.77人)	[概算コスト] 13,457 (内訳) ・決算額 7,356 ・人件費 6,101 (0.77人)	[概算コスト] 14,044 (内訳) ・決算額 8,000 ・人件費 6,044 (0.77人)	[概算コスト] 15,332 (内訳) ・予算額 9,344 ・人件費 5,988 (0.77人)	受精卵を移植した頭数 (単位:頭)	[目標値] 200 [実績値] 123 <達成率> 61.5%	[目標値] 200 [実績値] 144 <達成率> 72.0%	[目標値] 200 [実績値] 247 <達成率> 123.5%	[目標値] 200	受精卵移植により受胎した頭数 (単位:頭)	[目標値] 62 [実績値] 50 <達成率> 81.3%	[目標値] 72 [実績値] 57 <達成率> 79.2%	[目標値] 124 [実績値] 80 <達成率> 64.8%	[目標値] 100	A	B	見直し  (理由) 受精卵の移植は無料であるが、受益者負担の観点から、受胎が成功した場合は、移植の回数や母牛の飼養に要した経費と子牛の売却収入を比較した上で負担基準を設けるなど、費用負担のあり方を検討すべきである。
8	鹿児島地域農産加工ネットワーク(おふくろネット)支援事業	経済局 生産流通課	助成・育成	○事業開始年度 平成19年度  【概要】市内の農産加工グループで構成されている鹿児島地域農産加工ネットワークへの活動支援により、地域農産物を使った加工品の充実、また、販売促進を図り、農産物のPR及び消費拡大につなげる。 【対象者】鹿児島地域農産加工ネットワーク 【具体的な活動内容】鹿児島地域農産加工ネットワークへの活動助成(補助率)市1/2 【活動内容】講師等による研修(2回)、先進地視察、グループ間の加工技術交流会の開催(1回)、試作研修など各グループにおける研修の開催 など	市単	[概算コスト] 2,709 (内訳) ・決算額 300 ・人件費 2,409 (0.30人)	[概算コスト] 2,677 (内訳) ・決算額 300 ・人件費 2,377 (0.30人)	[概算コスト] 2,319 (内訳) ・決算額 200 ・人件費 2,119 (0.27人)	[概算コスト] 2,533 (内訳) ・予算額 200 ・人件費 2,333 (0.30人)	団体数 (単位:団体)	[目標値] 6 [実績値] 6 <達成率> 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 6 <達成率> 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 6 <達成率> 100.0%	[目標値] 6	加工品商品数 (単位:品)	[目標値] 84 [実績値] 84 <達成率> 100.0%	[目標値] 86 [実績値] 86 <達成率> 100.0%	[目標値] 88 [実績値] 93 <達成率> 105.7%	[目標値] 90	A	B	見直し  (理由) 24年度に補助金の算定方法を定額から定率に見直しなどしているが、毎年度、固定化されている団体への補助であることから、加工品数や売上高の推移をみながら、引き続き、補助期限の設定や、段階的な補助率の減などの見直しを行うべきである。
9	いきいきグリーンカレッジ開設事業	経済局 都市農業センター	その他	○事業開始年度 平成20年度  【概要】概ね60歳以上の市民を対象として、花き、花木、果樹及び野菜の基本的な栽培管理について、講義と実習を交えた講習を行う。 【対象者】市民(概ね60歳以上) 【具体的な活動内容】定員50名で年20回園芸指導員や職員、外部講師による講義と実習を行う。 授業場所:ふれあい学習館学習室、市民農園ゾーン及びふれあいゾーン 授業時間:水曜日の午前中(9:00~12:00)	市単	[概算コスト] 746 (内訳) ・決算額 425 ・人件費 321 (0.04人)	[概算コスト] 659 (内訳) ・決算額 342 ・人件費 317 (0.04人)	[概算コスト] 601 (内訳) ・決算額 287 ・人件費 314 (0.04人)	[概算コスト] 723 (内訳) ・予算額 412 ・人件費 311 (0.04人)	開催回数 (単位:回)	[目標値] 20 [実績値] 20 <達成率> 100.0%	[目標値] 20 [実績値] 20 <達成率> 100.0%	[目標値] 20 [実績値] 20 <達成率> 100.0%	[目標値] 20	授業の内容に満足したと回答した人数 (単位:人)	[目標値] 36 [実績値] 26 <達成率> 72.2%	[目標値] 35 [実績値] 19 <達成率> 54.3%	[目標値] 28 [実績値] 17 <達成率> 60.7%	[目標値] 28	A	B	見直し  (理由) 基礎的な栽培技術の習得を図る場を提供することは、農業への理解を深めるため必要であるが、受益者負担の観点から、実費負担について検討すべきである。 また、授業の満足度が約6割と低いことから、内容やコース設定などの見直しを合わせて行うべきである。
10	市民と協働の森づくり事業	経済局 生産流通課	助成・育成	○事業開始年度 平成21年度  【概要】市有林や生産森林組合林を企業やボランティア団体の森林整備活動の場として提供する。 ・市有林において一般市民参加による森林体験イベントを実施する。 【対象者】市内の企業及びボランティア団体 ・全市民 【具体的な活動内容】企業やボランティア団体への活動場所の提供 ・市民参加の森づくり体験	市単	[概算コスト] 1,050 (内訳) ・決算額 247 ・人件費 803 (0.10人)	[概算コスト] 1,080 (内訳) ・決算額 288 ・人件費 792 (0.10人)	[概算コスト] 1,300 (内訳) ・決算額 515 ・人件費 785 (0.10人)	[概算コスト] 1,390 (内訳) ・予算額 612 ・人件費 778 (0.10人)	ボランティア団体との協働協定数 (単位:団体)	[目標値] 3 [実績値] 0 <達成率> 0.0%	[目標値] 2 [実績値] 1 <達成率> 50.0%	[目標値] 2 [実績値] 1 <達成率> 50.0%	[目標値] 2	協定面積 (単位:ha)	[目標値] 3 [実績値] 0 <達成率> 0.0%	[目標値] 2 [実績値] 1 <達成率> 50.0%	[目標値] 2 [実績値] 1 <達成率> 50.0%	[目標値] 2	A	B	見直し  (理由) 企業との協働による協定実績がないことやボランティア団体との締結件数が1件と少なく、毎年度、同じ団体となっていることから、企業の希望するフィールドの確保・提供やボランティア協定締結団体を増やす取組を検討すべきである。
11	老人クラブ補助金交付事業	健康福祉局 長寿支援課	助成・育成	○事業開始年度 昭和37年度  【概要】老人クラブの健全な育成を図るため、老人クラブ連合会及び単位老人クラブに対し助成を行う。 【対象者】市老人クラブ連合会及び単位老人クラブ 【具体的な活動内容】老人クラブの結成・育成・研修等各種事業に対する補助金交付 ・単位老人クラブ補助金 ・連合会補助金	国補助	[概算コスト] 32,545 (内訳) ・決算額 29,975 ・人件費 2,570 (0.32人)	[概算コスト] 32,230 (内訳) ・決算額 29,695 ・人件費 2,535 (0.32人)	[概算コスト] 31,562 (内訳) ・決算額 29,050 ・人件費 2,512 (0.32人)	[概算コスト] 32,125 (内訳) ・予算額 29,637 ・人件費 2,488 (0.32人)	老人クラブ数 (単位:件)	[目標値] 330 [実績値] 335 <達成率> 101.5%	[目標値] 330 [実績値] 332 <達成率> 100.6%	[目標値] 334 [実績値] 325 <達成率> 97.3%	[目標値] 338	老人クラブ加入者数 (単位:%)	[目標値] 20,500 [実績値] 19,861 <達成率> 96.9%	[目標値] 19,900 [実績値] 19,546 <達成率> 98.2%	[目標値] 19,700 [実績値] 18,891 <達成率> 95.9%	[目標値] 19,100	A	B	見直し  (理由) 会員数が年々減少していることから、老人クラブとして求められるニーズ等の実態や課題の把握に努めるとともに、「老人クラブ」という名称も変更し、会員増となるような取組を進めるべきである。
12	元気高齢者活動支援事業	健康福祉局 長寿支援課	啓発・広報	○事業開始年度 平成13年度  【概要】各種技能、知識を有する高齢者を元気高齢者として登録し、各種団体や個人の依頼に応じて紹介する。 【登録者】各種技能、知識を有する65歳以上の高齢者 【具体的な活動内容】元気高齢者の登録 ・周知広報用のカレンダー作製 ・各種団体や個人からの依頼に基づき元気高齢者を紹介し、高齢者の社会参加を支援する。	市単	[概算コスト] 1,495 (内訳) ・決算額 692 ・人件費 803 (0.10人)	[概算コスト] 1,333 (内訳) ・決算額 541 ・人件費 792 (0.10人)	[概算コスト] 1,402 (内訳) ・決算額 617 ・人件費 785 (0.10人)	[概算コスト] 1,495 (内訳) ・予算額 717 ・人件費 778 (0.10人)	登録者数 (単位:人)	[目標値] 53 [実績値] 53 <達成率> 100.0%	[目標値] 48 [実績値] 48 <達成率> 100.0%	[目標値] 57 [実績値] 57 <達成率> 100.0%	[目標値] 57	紹介件数 (単位:件)	[目標値] 100 [実績値] 96 <達成率> 96.0%	[目標値] 100 [実績値] 136 <達成率> 136.0%	[目標値] 100 [実績値] 134 <達成率> 134.0%	[目標値] 100	A	B	見直し  (理由) 高齢者の社会参加、生きがいづくり等に寄与する事業であるが、登録者数に対して紹介件数が少ないことから、広報手段の見直し等による紹介件数増への取組など、事業手法について検討すべきである。

【評価結果:見直し】

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由				
						22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度				24年度	25年度		
13	高齢者のしおり作成事業	健康福祉局 長寿支援課	啓発・広報	○事業開始年度 昭63年度  【概要】 高齢者の保健福祉サービスに関する施策及び健康づくりのポイントや介護予防に資する基本的な知識などを分かりやすく掲載した「輝きライフ」を隔年で作成し配布する。 【配布先】 市関係窓口、民生委員児童委員、地域福祉館、地域公民館等。	特会(国・県補助)	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0 (0.00人)	[概算コスト] 4,344 (内訳) ・決算額 1,967 ・人件費 2,377 (0.30人)	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0 (0.00人)	[概算コスト] 5,128 (内訳) ・決算額 2,795 ・人件費 2,333 (0.30人)	作成部数 (単位:部) —	[目標値] 31,000	[実績値] —	[目標値] —	[目標値] 31,000	配付部数 (単位:部) 5,000	[目標値] 26,659	[実績値] 5,000	[目標値] 4,091	[実績値] 26,659	[目標値] 26,700	[実績値] 4,091	A	B	見直し  (理由) 高齢者向けサービスの情報提供は必要であるが、介護保険制度や各種事業のパンフレットなどと内容が重複する項目もあることから、それらの情報をまとめ、高齢者に特化した冊子として作成することを検討すべきである。
14	お達者クラブ運営支援事業	健康福祉局 保健予防課	助成・育成	○事業開始年度 平成12年度  【概要】 身近な公民館等で実施しているお達者クラブの運営を支援する。 【対象者】 心身の機能が低下している高齢者及びそれを支える高齢者等(健康づくり推進員) 【具体的な活動内容】 閉じこもりや孤独等の社会的障害の回復や生活習慣病・介護予防等のために絵画・工作等の創作やレクリエーション等を実施している「お達者クラブ」の運営支援 各クラブ月2回 年24回実施	特会(国・県補助)	[概算コスト] 69,246 (内訳) ・決算額 28,454 ・人件費 40,792 (5.08人)	[概算コスト] 73,850 (内訳) ・決算額 30,353 ・人件費 43,497 (5.49人)	[概算コスト] 84,314 (内訳) ・決算額 30,705 ・人件費 53,609 (6.83人)	[概算コスト] 71,794 (内訳) ・決算額 30,814 ・人件費 40,980 (5.27人)	お達者クラブ実施箇所数 (単位:箇所) 244	[目標値] 245	[実績値] 231	[目標値] 249	[目標値] 250	お達者クラブの利用者数(実数) (単位:人) 4,800	[目標値] 4,800	[実績値] 4,549	[目標値] 4,800	[実績値] 4,795	[目標値] 4,800	[実績値] 4,942	A	B	見直し  (理由) 高齢者の介護予防等を図るために必要な事業であるが、各クラブの企画・運営についてもできるだけ健康づくり推進員が行うことで保健師の訪問負担を減らすなど、保健予防課としての関わり方を見直すべきである。
15	認知症相談窓口設置事業	健康福祉局 長寿支援課	相談	○事業開始年度 平成23年度  【概要】 認知症の人が住みなれた地域で安心して住み続けるため、認知症の相談や周知・広報を行う相談窓口を、市民に身近な地域福祉館等へ設置し、認知症に関する専門団体に委託し、介護家族等へ適切な情報提供等を行うとともに、精神的な負担軽減を図る。 【対象者】 認知症の人やその家族、地域住民 【具体的な活動内容】 委託先:公益社団法人認知症の人と家族の会鹿児島県支部 ・ピアカウンセリング(認知症介護経験者による相談) ・情報提供、認知症の周知・広報活動	特会(国・県補助)	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0 (0.12人)	[概算コスト] 3,639 (内訳) ・決算額 2,688 ・人件費 951 (0.12人)	[概算コスト] 3,147 (内訳) ・決算額 2,205 ・人件費 942 (0.12人)	[概算コスト] 3,145 (内訳) ・決算額 2,212 ・人件費 933 (0.12人)	窓口設置箇所数 (単位:箇所) 33	[目標値] 33	[実績値] 33	[目標値] 33	[目標値] 33	来所者数 (単位:人) 150	[目標値] 150	[実績値] 242	[目標値] 150	[実績値] 188	[目標値] 150	[実績値] 188	A	B	見直し  (理由) 認知症に対する相談業務や広報啓発は必要であるが、相談窓口の設置箇所数に対して相談件数が少ないことから、地域包括支援センターで相談できるような体制を検討するなど、広報手段、窓口設置場所の見直しを図るべきである。
16	交通事故相談の実施	市民局 安心安全課	相談	○事業開始年度 昭和47年度  【概要】 交通事故による被害者、加害者等の相談を受け、損害賠償等の助言を行う。 【対象者】 全市民 【具体的な活動内容】 交通事故による被害者、加害者等の相談を受ける。	市単	[概算コスト] 2,836 (内訳) ・決算額 2,515 ・人件費 321 (0.04人)	[概算コスト] 2,840 (内訳) ・決算額 2,523 ・人件費 317 (0.04人)	[概算コスト] 2,835 (内訳) ・決算額 2,521 ・人件費 314 (0.04人)	[概算コスト] 2,840 (内訳) ・決算額 2,529 ・人件費 311 (0.04人)	交通事故相談員 (単位:人) 1	[目標値] 1	[実績値] 1	[目標値] 1	[目標値] 1	相談件数 (単位:件) 528	[目標値] 474	[実績値] 409	[目標値] 437	[実績値] 416	[目標値] 422	[実績値] 441	A	B	見直し  (理由) 交通事故による被害者、加害者等の相談を受けることは重要であるが、相談件数が少ないことから、他の相談員との兼務など、相談員の配置のあり方を見直すべきである。
17	安心安全協力事業所登録事業	市民局 安心安全課	市民参画	○事業開始年度 平成21年度  【概要】 市と事業者が協力・連携して安心安全なまちづくりを推進するために、犯罪、事故及び自然災害の未然防止のための活動や災害等の発生時の救援活動において、人材や資機材、物品、技術等の提供に可能な範囲で協力・支援できる事業所を「鹿児島市安心安全協力事業所」として募集・登録する。 【対象者】 事業所 【具体的な活動内容】 ○「鹿児島市安心安全協力事業所」として募集・登録する。 平成25年3月末登録事業所数 904事業所	市単	[概算コスト] 1,533 (内訳) ・決算額 891 ・人件費 642 (0.08人)	[概算コスト] 735 (内訳) ・決算額 101 ・人件費 634 (0.08人)	[概算コスト] 725 (内訳) ・決算額 97 ・人件費 628 (0.08人)	[概算コスト] 755 (内訳) ・決算額 133 ・人件費 622 (0.08人)	登録事業所数 (単位:件) 601	[目標値] 899	[実績値] 879	[目標値] 904	[目標値] 924	活動報告書提出件数 (単位:件) 90	[目標値] 90	[実績値] 35	[目標値] 180	[実績値] 44	[目標値] 180	[実績値] 59	A	B	見直し  (理由) 登録事業所数は増えているものの、活動報告書の提出が任意で件数が伸びていないことから、具体的な取組内容を把握するためにも、提出方法等について検討すべきである。
18	安心安全地域リーダー育成事業	市民局 安心安全課	助成・育成	○事業開始年度 平成18年  【概要】 地域の防犯、防災活動等のリーダーを育成するため、「安心安全アカデミー」を開催し、防犯、事故防止及び防災の専門的な講座を実施する。また、安心安全推進員を委嘱し、市と協働で安心安全なまちづくりを推進する。 【対象者】 全市民 【具体的な活動内容】 ・安心安全アカデミーの開催 ・安心安全推進員の委嘱	市単	[概算コスト] 4,452 (内訳) ・決算額 3,167 ・人件費 1,285 (0.16人)	[概算コスト] 4,430 (内訳) ・決算額 3,162 ・人件費 1,268 (0.16人)	[概算コスト] 4,433 (内訳) ・決算額 3,177 ・人件費 1,256 (0.16人)	[概算コスト] 4,414 (内訳) ・決算額 3,248 ・人件費 1,166 (0.15人)	マスターコース受講者数 (単位:人) 40	[目標値] 40	[実績値] 52	[目標値] 40	[目標値] 40	マスターコース修了者数 (単位:人) 52	[目標値] 34	[実績値] 45	[目標値] 44	[実績値] 28	[目標値] 40	[実績値] 38	A	B	見直し  (理由) 地域の防犯、防災活動等のリーダーとして活躍する人材を育成するために必要であるが、マスターコース修了者に委嘱する安心安全推進員を各地域にどの程度配置するのか検討し、必要に応じた育成を図っていくべきである。

【評価結果:見直し】

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由	
						22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	指標名	22年度	23年度				24年度
19	消費者教育担い手育成事業	市民局 消費生活センター	助成・育成	○事業開始年度 平成19年度  【概要】 地域に根ざした消費者啓発を促進するため、「地域消費者リーダー」を育成し、地域において簡易な出張講座を実施する。 【対象者】 一般公募市民 【具体的な活動内容】 ○活動1、2年目 研修会、価格調査、事業参画 ○活動3年目以降 自主研修会、出張講座	県補助	[概算コスト] 5,662 (内訳) ・決算額 844 ・人件費 4,818 (0.60人)	[概算コスト] 5,792 (内訳) ・決算額 1,038 ・人件費 4,754 (0.60人)	[概算コスト] 5,875 (内訳) ・決算額 1,166 ・人件費 4,709 (0.60人)	[概算コスト] 5,878 (内訳) ・予算額 1,212 ・人件費 4,666 (0.60人)	地域消費者リーダー数(3年目以降) (単位:人)	[目標値] 14 [実績値] 14 <達成率> 100.0%	[目標値] 27 [実績値] 27 <達成率> 100.0%	[目標値] 21 [実績値] 21 <達成率> 100.0%	[目標値] 36 [実績値] 26 <達成率> 72.2%	[目標値] 36 [実績値] 34 <達成率> 94.4%	[目標値] 36 [実績値] 43 <達成率> 119.4%	[目標値] 36 [実績値] 43 <達成率> 119.4%	A	B	見直し  (理由) 地域消費者リーダーの人数は通増してきていることから、地域に根ざした消費者教育の実施に向けて最終的なリーダー数の目標値を設定し、必要に応じた育成を図っていくべきである。	
20	A(悪質商法)B(撲滅)C(シティ)消費者情報ネットがこしま事業	市民局 消費生活センター	啓発・広報	○事業開始年度 平成21年度  【概要】高齢者、障害者、若年者の消費者被害を未然に防止するため、ネットワーク会議を開催して関係機関との連携を図るとともに、メールマガジンで消費者被害情報を共有することにより、消費者への「見守り機能」を強化する。 【対象者】市民 【具体的な活動内容】 ・消費者被害未然防止ネットワーク会議の開催(年1回) ・ABC消費者情報ネットがこしま(メールマガジン)の配信(月1回程度) ※メールマガジン登録者 22年度:802件 23年度:904件 24年度:1122件	県補助	[概算コスト] 1,169 (内訳) ・決算額 366 ・人件費 803 (0.10人)	[概算コスト] 1,136 (内訳) ・決算額 344 ・人件費 792 (0.10人)	[概算コスト] 1,291 (内訳) ・決算額 506 ・人件費 785 (0.10人)	[概算コスト] 1,121 (内訳) ・予算額 343 ・人件費 778 (0.10人)	メールマガジン配信回数 (単位:回)	[目標値] 12 [実績値] 19 <達成率> 158.3%	[目標値] 12 [実績値] 14 <達成率> 116.7%	[目標値] 12 [実績値] 12 <達成率> 100.0%	[目標値] 12 [実績値] 802 <達成率> 133.7%	[目標値] 900 [実績値] 904 <達成率> 100.4%	[目標値] 1,000 [実績値] 1,122 <達成率> 112.2%	[目標値] 1,200 [実績値] 1,122 <達成率> 93.5%	A	B	見直し  (理由) メールマガジンによる消費者被害の情報提供は有効であるが、その他にもSNSの活用など、様々な広報媒体の活用を検討すべきである。	
21	暮らしに役立つ計量啓発事業	経済局 経済政策課	啓発・広報	○事業開始年度 平成20年度 【概要】1. 親子計量教室 2. 知って得する計量管理体験教室 3. 計量のひろば共催事業 【対象者】市民 【具体的な活動内容】 1. 毎日の生活に身近で重要な計量について、親子で学び、親しむことを目的に、夏休み期間中の親子を対象に、計量検査所の施設の見学や計量の基本的な解説、簡単な計量器作り等を体験する。 2. 事業所での適正な計量のための取組みや、店頭と並ぶ商品の量目等を調査してもらい、適正な計量管理に関する現状と、重要性について認識してもらおう。 3. 鹿児島県、県・市計量協会との共催により、11月1日の計量記念日の普及・啓発を図ることを目的に実施。	市単	[概算コスト] 3,381 (内訳) ・決算額 169 ・人件費 3,212 (0.40人)	[概算コスト] 3,336 (内訳) ・決算額 167 ・人件費 3,169 (0.40人)	[概算コスト] 2,520 (内訳) ・決算額 165 ・人件費 2,355 (0.30人)	[概算コスト] 2,507 (内訳) ・予算額 174 ・人件費 2,333 (0.30人)	事業の参加者数 (単位:人)	[目標値] 3,200 [実績値] 3,049 <達成率> 95.3%	[目標値] 3,400 [実績値] 4,163 <達成率> 122.4%	[目標値] 3,500 [実績値] 3,359 <達成率> 96.0%	[目標値] 3,500 [実績値] 3,500 <達成率> 100.0%	[目標値] 49 [実績値] 49 <達成率> 100.0%	[目標値] 63 [実績値] 63 <達成率> 100.0%	[目標値] 49 [実績値] 49 <達成率> 100.0%	[目標値] 50 [実績値] 49 <達成率> 98.0%	A	B	見直し  (理由) 計量の学習や体験をととして、計量への理解と正しい計量知識を広くむため、必要な事業であるが、親子計量教室及び知って得する計量管理体験教室については、参加者が両方で50人程度と少ないことから、参加者増となるような取組を検討すべきである。
22	一般公衆浴場設備改善補助事業	健康福祉局 生活衛生課	助成・育成	○事業開始年度 昭和52年度  【概要】 一般公衆浴場業者が、経営合理化等を図るために行う設備改善等の事業に要する経費の一部について助成する。 【対象者】一般公衆浴場経営者 【具体的な活動内容】 ①交付対象額の3分の1に相当する額以内の額を補助する。(限度額20万円) ②交付対象:循環ろ過装置、燃焼装置、給湯給水配管設備等	市単	[概算コスト] 2,625 (内訳) ・決算額 1,019 ・人件費 1,606 (0.20人)	[概算コスト] 3,893 (内訳) ・決算額 2,308 ・人件費 1,585 (0.20人)	[概算コスト] 3,501 (内訳) ・決算額 1,931 ・人件費 1,570 (0.20人)	[概算コスト] 3,079 (内訳) ・予算額 1,524 ・人件費 1,555 (0.20人)	助成実績件数 (単位:件)	[目標値] 9 [実績値] 8 <達成率> 88.9%	[目標値] 8 [実績値] 16 <達成率> 200.0%	[目標値] 8 [実績値] 12 <達成率> 150.0%	[目標値] 8 [実績値] 67 <達成率> 111.7%	[目標値] 60 [実績値] 66 <達成率> 110.0%	[目標値] 60 [実績値] 65 <達成率> 108.3%	[目標値] 60 [実績値] 65 <達成率> 108.3%	A	B	見直し  (理由) 公衆浴場の設備改善により、公衆衛生確保等が図られることから必要な事業であるが、事業開始から30年が経過していることも踏まえ、一律に設備改善に補助するのではなく、経営状況も加味した制度とするなど、補助のあり方を見直すべきである。	
23	公衆浴場業振興補助事業	健康福祉局 生活衛生課	助成・育成	○事業開始年度 昭和55年度  【概要】 一般公衆浴場の確保とその衛生保持の推進を図るため鹿児島県公衆浴場業生活衛生同業組合鹿児島市支部が実施する事業に対し助成する。 【対象者】鹿児島県公衆浴場業生活衛生同業組合鹿児島市支部 【具体的な活動内容】 鹿児島県公衆浴場業生活衛生同業組合鹿児島市支部が実施する下記の事業を助成する。 ①実態調査 ②研修費 ③衛生薬剤費	市単	[概算コスト] 3,603 (内訳) ・決算額 2,800 ・人件費 803 (0.10人)	[概算コスト] 3,592 (内訳) ・決算額 2,800 ・人件費 792 (0.10人)	[概算コスト] 3,585 (内訳) ・決算額 2,800 ・人件費 785 (0.10人)	[概算コスト] 3,578 (内訳) ・予算額 2,800 ・人件費 778 (0.10人)	研修会開催回数 (単位:回)	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 67 <達成率> 111.7%	[目標値] 60 [実績値] 66 <達成率> 110.0%	[目標値] 60 [実績値] 65 <達成率> 108.3%	[目標値] 60 [実績値] 65 <達成率> 108.3%	A	B	見直し  (理由) 一般公衆浴場確保の支援につながり、公衆衛生確保のため、必要な事業であるが、補助対象となっている協会の事業内容が、本当に市が補助すべき内容であるか精査し、事業効果を高めるよう努めるべきである。	